

Majestic Warrior

マジェスティックウォリアー 体高167cm

2005年生 鹿毛 米国産

Fee 受胎条件 フリーリターン特約付

受胎確認後9月30日迄支払



エーピーインディ A.P. Indv 黒鹿毛 1989

Seattle Slew 黒鹿毛 1974

Weekend Surprise 鹿毛 1980

ドリームシュプリーム **Dream Supreme** 黒鹿毛 1997

シアトルスルー

ウィークエンドサプライズ Secretariat

シーキングザゴールド Seeking the Gold 鹿毛 1985

スピニングラウンド Spinning Round 鹿毛 1989

ボールドリーズニング **Bold Reasoning**

マイチャーマー My Charmer

セクレタリアト

ラッシーディア Lassie Dear

ミスタープロスペクター Mr. Prospector

コンゲーム Con Game

Take Heart

ディキシーランドバンド

Dixieland Band テイクハート

Bold Ruler Boldnesian Alanesian Reason to Earn

Fair Charmer **Bold Ruler**

Poker

Somethingroyal Buckpasser

Gay Missile Raise a Native Gold Digger

Buckpasser **Broadway Northern Dancer**

Mississippi Mud Secretariat **Deck Stewardess** Hail to Reason Sailing Home Round Table Glamour Jet Action Myrtle Charm Nasrullah Miss Disco Princequillo Imperatrice Busanda Sir Gaylord Missy Baba Native Dancer Raise You Nashua Sequence Tom Fool Busanda Hasty Road Flitabout Nearctic Natalma Delta Judge Sand Buggy Bold Ruler Somethingroyal Deck Hand

名馬の登龍門〈G1ホープフルS〉を不敗で制覇 万能種牡馬エーピーインディが送る本格派 エアアルマスがダート路線を3連勝でリステッド勝ち

Race Record 競走成績

デビューから2連勝でG1ホープフルSを制覇

2~3歳時に北米で7戦2勝 総収得賞金:23万9229米ドル

ホープフルS(2007) 米サラトガ・ダフf 1 G1 メイドン(2007) 1 米サラトガ・ダ6.5f ウッディスティーヴンスS(2008) 米ベルモント・ダフf

Sire Record 種牡馬成績

本邦初年度産駒は続々勝ち上がり!

2009年より米国で供用開始。2016年よりイーストスタッドにて供用。2012年北米 ファーストクロップサイアーランキング4位、2013年北米セカンドクロップサイアーラ ンキング1位。

[代表産駒]

*プリンセスオブシルマー Princess of Sylmar

*ベストウォーリア

バーバラフリッチーH-G2

レディサベリア Lady Sabelia ピットブル Pit Bull マイマジェスティックローズ My Maiestic Rose レインスター Leinster デクランズウォリアー **Declan's Warrior**

1勝

1膵

ローンセーラー Lone Sailor *エアアルマス ヘイセイメジャー ヴァンドゥメール サナチャン ダンツウィザード サンライズホープ キャンディフロス

1勝 1勝 アスターコルネット 1 瞇 ハローキャンディ 1勝 ライトウォーリア 1勝 エクスチェンジ 1勝 ソングオブザハート

ケンタッキーオークス-G1、アラバマS-G1、 CCAオークス-G1、ベルデーム招待S-G1、オグ デンフィップスS-**G1**2着、デラウェアH-**G1**2着 マイルチャンピオンシップ南部杯-**Jpn1**[2回]、

同2着、プロキオンS-G3[2回]、ユニコーン S-G3、フェブラリーS-G12着、同3着、かしわ 記念-Jpn12着、同3着、JBCスプリント-Jpn12 着、同3着、兵庫チャンピオンシップ・Jpn22着、 さきたま杯-Jpn22着、根岸S-G32着(種牡馬)

ビセンテL.カサーレス賞-G2 サマータイムオークス-G2

トロイS-G3 ベイショアS-G3

オクラホマダービー-**G3** エニフS-L、太秦S-OP

北海道・イノセントC、サッポロクラシックC

Sire Reference 父系

北米チャンピオンサイアーに2度輝いた名種牡馬

父:**エーピーインディ**A.P. Indyは米国産。北米で2~3歳時に11戦8勝。米年度 代表馬、米最優秀3歳牡馬、BCクラシック-G1、ベルモントS-G1、サンタアニタダ ービー-G1。2003、2006年北米チャンピオンサイアー、2013、2015、2016年 北米チャンピオンブルードメアサイアー。[代表産駒]マインシャフトMineshaft(米 年度代表馬、米古牡馬チャンピオン、ジョッキークラブゴールドC-G1、ウッドワード S-G1、サバーバンH-G1、ピムリコスペシャルH-G1)、バーナーディニ Bernardini (米3歳牡馬チャンピオン、プリークネス S-G1、トラヴァーズ S-G1、ジョッキーク ラブゴールドC-G1)、ラグストゥリッチズRags to Riches(米3歳牝馬チャンピオ ン、ベルモントS-G1、ケンタッキーオークス-G1、サンタアニタオークス-G1、ラス ヴァージネス S-G1)、テンペラ Tempera(米2歳牝馬チャンピオン、BC ジュヴェナ イルフィリーズ-G1)、*シンボリインディ(NHKマイルC-Jpn1)、マリブムーン Malibu Moon(2010年北米チャンピオンサイアー)、プルピットPulpit(ブルーグ ラスS-G2、2014~16年北米チャンピオンサイアー·タピットTpitの父)

Family 母系

母、祖母はG1バレリーナSで母仔制覇を達成

母ドリームシュプリーム Dream Supreme(by Seeking the Gold)は北米9勝,テス トS-G1, バレリーナH-G1, ディスタフBCH-G2, フマナディスタフH-G2, プリ ンセスルーニー H-G3, ギャラントブルーム H-G3。産駒

*マジェスティックウォリアー Majestic Warrior(牡 by A.P. Indy) 北米2勝,ホー プフル S-**G1**。種牡馬

エヴォリューショニスト Evolutionist(牡 by El Prado) 北米3勝, Woodchopper S, ジャイパーS-G33着。種牡馬

クリスタルカレント Crystal Current(牝 by A.P. Indy) 北米2勝, Suncoast S, Florida Oaks-L3着。 產駒

サヴォイストンプ Savoy Stomp: 北米3勝, Carl Hanford Memorial S2着 ミヴィーダMi Vida:北米2勝, Matron S 3着

ゴールドシールドGold Shield(牡 by Medaglia d'Oro) 北米4勝, H. Allen

ッアードフォース Tour de Force(牡 by Tiznow) 北米4勝, Challedon S3着 エーピードリーム A. P. Dream(牝 by Á.P. Indy)北米1勝。産駒

ウインドファイア Wind Fire: 英3勝、Tyres St Hugh's S-L、Scurry S-L、フ ライングチルダーズS-**G2**2着,サンダウンスプリントS-**G3**2着,英ノーフ ォークS-G23着、ロウザーS-G23着、テンプルS-G23着

*ヴィーゲンリート(牝 by Tiznow)1勝

祖母**スピニングラウンド**Spinning Roundは北米8勝,バレリーナS-**G1**,アルシビ アデスS-G2,フォワードギャルBCS-G2,ヴェイグランシーH-G3,アッシュラン ドS-G12着,ボニーミスS-G22着,ジェニュインリスクS-G22着。産駒 スイートシティギャル Sweet City Gal:不出走。産駒

カンフーマンボ Kung Fu Mambo: ペルー3歳牡馬チャンピオン, ペルー2勝, ペルーダービー-G1,ペルー2000ギニー-G12着,北米1勝

スイートソレル Sweet Sorrel: 亜2勝, エストレージャスジュヴェナイル大賞

代表產駒 Best Progeny



マイルチャンピオンシップ南部杯-Jpn1 2015.10.12 幽・ダ1600m

Jpn1マイルチャンピオンシップ南部杯2連覇スピードとタフさを誇った一流ダートマイラー

ベストウォーリア

父*マジェスティックウォリアー **母Flirtatious Miss(Mr. Greeley)** 牡 2010年生 栗東·石坂正厩舎

2009年にアメリカで種牡馬となったマジェスティックウォリアーの初年度産 駒で、輸入馬として走り活躍したのがベストウォーリア。G3ユニコーンSに始 まりダートで重賞5勝、中でも光るのが4~5歳時に記録した、Jpn1マイルチャ ンピオンシップ南部杯の2連覇だろう。1度目は2番手から抜け出してポアゾン ブラックに4馬身差の圧勝。2度目は4頭が雁行状態となる激しい先行争いから、 やはりそのまま抜け出して最後はタガノトネールに2馬身差。スピードと、タフな 流れでも耐えきるタフさを持った、一流のダートマイラーだった。